

人をつなぐ 地域をつむぐ 広がる子どもの気づき

I 【失敗だらけの梅干づくり】 II 【ココアってつくれる! ?】

社会福祉法人 サン・ビジョン (愛知県)

住 所 〒 461-0004

愛知県名古屋市東区葵 3-25-23

T E L 052-856-3311

U R L <https://e-sunlife.or.jp/>

経 営 理 念

- ・地域とともに少子高齢社会を考え、安心で未来ある街づくりに貢献します。
- ・子どもの無限の可能性を引き出し個々のもつ力をはぐくみ、地域で育てる環境をつくります。
- ・子どもの優しい心、豊かな心、強い心を育てます。
- ・高齢者がもてる力を発揮して、自信と幸福を感じられる生活を支援します。
- ・高齢者の尊厳と自己決定を尊重し、一人一人のライフスタイルを支援します。
- ・職員がプロフェッショナルとして喜びと誇りをもち、自ら改革する力をもてるよう育成します。
- ・法律その他基準に従って、常に組織・運営を見直します。
- ・地域社会の変化と改革の先駆者となります。
- ・社会福祉制度のセーフティネットとしての役割を果たします。
- ・地域社会の一員として、また地球市民として、環境に優しい業務運営に努めます。

事 業 内 容 及 び 定 員

サービス付き高齢者向け住宅 (2 箇所) 高齢者向け優良賃貸住宅 (3 箇所)
住宅型有料老人ホーム (4 箇所) 介護付き有料老人ホーム (3 箇所)
養護老人ホーム (2 箇所) 特別養護老人ホーム (18 箇所)
地域密着型特別養護老人ホーム (2 箇所) 老人保健施設 (4 箇所)
サテライト型老人保健施設 (1 箇所) ケアハウス (4 箇所)
グループホーム (13 箇所) 生活支援ハウス (2 箇所)
小規模多機能型居宅介護 (5 箇所) ショートステイ (20 箇所)
ショートケア (4 箇所) デイサービス (20 箇所) デイケア (4 箇所)
訪問リハビリ (3 箇所) 訪問介護 (2 箇所)
居宅介護支援事業所 (17 箇所) 在宅介護支援センター (1 箇所)
地域包括センター (4 箇所) レンタルサービス (1 箇所)
賃貸住宅 (2 箇所) 認可保育所 (1 箇所)
幼保連携型こども園 (3 箇所) 学童保育所 (1 箇所)

収 入

(法人全体)
平成29年度決算

- ①社会福祉事業 12,883,985,791 円
(サンライフ：6,224,903,625 円、サン・ビジョン：6,659,082,166 円)
- ②公益事業 3,530,733,518 円
(サンライフ：2,399,709,686 円、サン・ビジョン：1,131,023,832 円)
- ③収益事業 144,150,874 円
(サンライフ：101,799,857 円、サン・ビジョン：42,351,017 円)

職 員 数

(法人全体)

2,377 名 (非常勤含む)

**当 面 する
経 営 課 題**

- 少子化、労働人口減少による人材確保
- 災害発生を想定した地域との係わり

地域と共に子どもを育てる環境

1

幼保連携型認定こども園サン・サンこども園グレイスフル塩尻

私たちの園が大事にしていること

サン・サンこども園グレイスフル塩尻

園長 山本 厚一

サン・サンこども園は長野県、塩尻駅東口を出て徒歩1分の立地にあり、併設の介護施設と他世代間の交流ができる幼保連携型認定こども園です。子どもをまんなかに、遊びを通して健やかに成長できる環境を心がけています。

私たちが願うことは、子ども達が多様な価値観の中で、より良い自分を見つけていったり、自分の考えを認めてもらえたり、失敗しても安心してやり直すことができるようになって欲しいということです。そのために大事なことは、うまくいかない時に諦めず「どうしてかな」「こうやってみよう」「これがダメなら、ああやってみよう」など、自分の考えたことを実現していくプロセスだと考えています。そうしたことを通して、幼児期に最も大切な人との関わりの中で自制心を培い「人として生きていく力を育む」ことができるように、教育・保育を行なっています。



事例① 失敗だらけの梅干づくり



(併設の介護施設との交流を通して)

年長さん、クッキングをやることになって、クラスで話し合い。そしてアレルギー除去食の友だちも食べられるほうがいいことで、梅干しのおにぎりを作ることに決定！

「園長せんせい、梅干し買ってもいいですか？」
みんなで近くのお店にお散歩しながらお買い物に出発！
手にしたのは、まさかの一粒おいくら？みたいな高級梅干しです。

それはそれはおいしかったんでしょう。子どもたちの発想って本当にすごい！今度は梅干しを作りたいと言い出すんです。さらにすごいのが先生、絶対に梅干しの作り方を教えない。言葉を変えると先回りしない。

少子高齢社会をトータルサポートする

社会福祉法人サン・ビジョン

〒461-0004 名古屋市東区葵3-25-23

TEL (052) 856-3311 FAX (052) 856-3355

子どものやってみたいを広げる

「じゃあ、梅干ってどうすれば作れるの？」

と、子どもたちに逆質問。

すると「図書館に行けば本があるよ」とか家の人に聞いて、どうやらシソっていう葉っぱが必要らしいとか情報を仕入れ、自分たちで考えていきます。

集めた情報をもとに梅干しを作ってみてまた大騒ぎ。ジップロックに水と梅干、シソの葉っぱを少々入れて30分間ぐらいガツガツ振りつづけるとか、梅干の上にシソの葉っぱを乗せてジッと待つ子がいたり。

大人が見ると微笑ましいですが、子どもたちは真剣そのもの。だって、うまくいかないって自分たちの大問題だからです。

人と関わり、実現していける

どうする？ってまた話し合います。

ウーーンって悩んで考えて、いつも交流している、併設の介護施設のおじいちゃん、おばあちゃんに聞いてみたら？
ってナイスアイデア。

おじいちゃんや、おばあちゃんは梅干し達人です。手ほどきを受けながら、子どもたちの思いが形になっていきます。

先生は、とことんサポートするだけで先回りしない。
そして失敗だらけの梅干し作りが続いていきました。

事例② 「ココアってつくれる？」

(畑づくりから、地域に広がる子ども達の想い)
園庭にある畑で栽培する野菜を、年長さんがクッキングの材料から話し合い。カレーに使う「ジャガイモ！」や「にんじん！」ピザも食べたいから「ピーマン！」と、ひとりの男の子が…ハイ

「ココアがのみたい！ココアってつくれる？」
そこで担任さん「そんなのできないよ」って言わない。
子どもたちの話し合いで、「野菜の種は花屋さんにあるんじゃない？」ってことで、お散歩にGO！当然、野菜の種は…ないけれど、花屋のおかみさん。
「せっかくだから野菜の苗を注文してあげるよって！！」
そんな中、あのキラキラの言葉が店内に響き渡ります。



「ココアの種は？」奥から花屋のだんな様が登場。ちょっと首をひねってから、インターネット検索。
「どうやらココアの種じゃなくてカカオの豆らしいねえ、植えてから5年。しかも相当あったかいところじゃないと…ムリみたい」
それを聞いたココア大好きな男の子は、大きくうなずきます。ココアを作る夢はかなわなかったけれど、自分の思いをいろいろな人に受け止めてもらえたって顔、満足してるのがよくわかります。その後の畑づくりも、とっもがんばりました。

地域人材の活用



(地域に飛び出して、人とかがわりあう)

畑の看板を手作り…業者の教材屋の社長さん
プロの味ピザ職人…イタリアンレストラン店長さん
野菜の苗をお届け…お花屋さん奥様とだんな様
畑のプロ……………サンサンワイナリーのスタッフさん

畑づくりを通して出会った人たちに「お礼をしたい」
って考えた子ども達！

【畑で取れた野菜で、カレーライスを作ってプレゼント】
【おひさまレストランを開店するぞ!!!】

子どものやってみたいを展開

- グッドポイント
- ①子どもの考えが形になるから、安心して失敗できて、チャレンジしたことがほめられる。
 - ②みんなで話し合うから、自主性やコミュニケーション力がアップ！
 - ③地域の人材がいっぱい！
 - ④「僕たちがやったんだよ」(達成感)
 - ⑤おひさまレストラン開店！
お世話になった方へカレーライスをつくりふるまっちゃう、
お店屋さんのリアル体験。



終わりに

必要感があってはじめて学びにつながる。失敗しないよう、失敗しないように先回りし、子どもたちが自ら気がつき、成長する大切な機会を大人が奪ってしまったらもったいない。私たち社会福祉法人サン・ビジョンは、地域と共に少子高齢社会を考え、安心で未来ある街づくりのため、これからも子どもをまんなかに、教育・保育を行なっていきたいと思ひます。

少子高齢社会をトータルサポートする
社会福祉法人サン・ビジョン
〒461-0004 名古屋市東区葵3-25-23
TEL (052) 856-3311 FAX (052) 856-3355